

LOUIS GARNEAU®

2006MODEL LOUIS GARNEAU DW2

リアサスペンション取り扱い説明書



KIND SHOCK リアサスペンション

当製品は組み立て完成済み製品です。お取り付け方法、ご使用方法、メンテナンス方法をよりよく理解していただくため、ご使用になる自転車にお取り付けになる前に本書をよくお読み下さい。

⚠ Caution

自転車による事故の発生を防ぐため、本書をよく読むとともに本書の推奨に従い、使用する自転車及び当製品のメンテナンスを行ってください。自転車に使用する際には、当製品に破損が無いことを確認して下さい。当製品に破損、亀裂、パーツ欠如等の状況が発見された場合には当製品の使用を中止して御購入された販売店にて直ぐに御相談下さい。

⚠ Caution

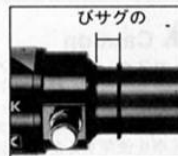
サスペンションの機能により、フレームの各部分の位置が変化する可能性があります。多くの調整機構を備えるサスペンションもあることから、サスペンションの取り付けに当たっては、御購入頂いた販売店で取り付けることを推奨いたします。



初期エア圧の調整

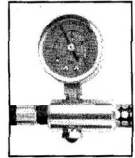
エア圧及びサグの設定

自転車に取り付けてから当製品を最大限発揮するためにはサグ設定が必要となります。サグ設定は搭乗者の体重、フレームのレバー比、搭乗場所、個人の好みなどによって異なります。自転車にまたがらずに置いてるだけの状態を1G、静止した状態で自転車にまたがりペダルに両足を乗せただけの状態を1G^{*}といえます。この時、当製品のオーリングまたはゴムブッシュがストロークした距離がサグになります。最適なサグは使用者によって異なりますので参考にして下さい。



推奨サグ値 XC (オフロード) ---サスペンショントラベルの15-25%
FR (フリーライディング) ---サスペンショントラベルの20-35%

取り付け寸法	サスペンショントラベル	サグ値			
		トラベルの15%	トラベルの20%	トラベルの25%	トラベルの35%
165	38 mm	5-6 mm	6-7 mm	9-10 mm	13-14 mm
190	50 mm	7-8 mm	10 mm	12-13 mm	17-18 mm



1-2

⚠ Caution

サスペンションのエア圧設定が正常でない場合、サスペンションが損傷して自転車がコントロール不能となり、事故を引き起こす可能性があります。一般的なサスペンションのエア圧は50-200psi (ポンド/平方インチ) (図1-2) となっています。エア圧がこの範囲内に無い場合、専用のエアポンプを使用してエア圧を調整して下さい。また、自転車を使用する前には必ずエア圧を確かめてからご使用下さい。

104



KS-582

シリンダーのエア圧設定

まずメインシリンダーのエア圧を設定し(図7-1)、続いてサブシリンダーのエア圧を設定します(図7-2)。通常は±20psi前後に設定しますが、あくまでも推奨値ですので、必要に応じて調整を行ってください。



7-1

7-2



8-1



8-2



8-3

リバウンドスピードの調整とロックアウトの方法

赤色の調整レバーを使用することによりサスペンションのリバウンドスピードを調整することが出来ます。時計回りに回すことでリバウンドスピードが遅くなり(図8-1)、逆にすることで速くなります(図8-2)。時計回りに最後まで回すとロックアウトされます(図8-3)。